

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

概要

この資料は Microsoft Exchange が交換された Web サービス (EWS) Cisco Unity Connection から同期されたとき、問題にソリューションを提供しますメッセージを日誌に記さないところで直面する問題を記述したものです。

問題

単一 インボックス メッセージは Exchange ジャーナル 機能によって Cisco Unity Connection から同期化されたとき記録されません。

解決策 1

推奨される回避策はここにあります。ジャーナル 機能によって記録 する必要がある Unity 接続からのメッセージを受け入れるために Exchange の別のメールボックスを作成して下さい。次に、追加リレーへの設定されたアカウントこのメールボックスへのメッセージ。このリレーはメッセージが Simple Mail Transport Protocol (SMTP 渡される) -であるようにします日誌に記すことができるメッセージのタイプとしてそれらを分類する。

1. 交換メッセージの別のコピーを受け入れるために Exchange の特定のメールボックスを作成して下さい。
2. Smarthost アドレスの Unity 接続を設定して下さい。Unity 接続 Admin Web ページで、> **スマートなホストはシステム設定 > SMTP 設定** にナビゲートします。Exchange IP アドレスをかおよび Unity 接続からの中継通信文が受け入れるホスト名を入力して下さい。
3. 各ユーザにナビゲートし、**操作を『Message』** を選択し、リレーを設定して下さい。
> **<specific user>** > **Edit > メッセージ アクション > 音声メールはユーザにナビゲート**
し、**メッセージを『Accept』** を選択し、**中継で送ります。リレー アドレス フィールド**では、作成した Exchange ジャーナル メールボックスを入力して下さい。

注 各ユーザ メールボックスにアクセスする必要なしでかさ張ることは可能性のある編集します複数のユーザ メッセージ アクション機能をです。

ユーザはまだ EWS が単一 インボックス 機能によってメールボックスに同期した、メッセージアクションは作成したメールボックスにメッセージを SMTP 渡しますメッセージを受け取り。

注 単一 インボックス メッセージにおけるジャーナル 機能問題は EWS によって同期されるそれと関連しています。メッセージは Exchange の正常な配信キューをフローしないし、こうして日誌に記しません。従って、問題は Unity 接続にありません。

解決策 2

唯一はまた前の手順に続く他の回避策各ユーザ向けの Exchange のセカンダリ メールボックスを作成することです。それから、各ユーザ向けのセカンダリ メールボックスに中継で送るためにメッセージアクション機能を設定して下さい。これは同じ Exchangeポストに EWS Synchronization (単一 インボックス) および SMTP リレーを行なうことができないので必要です。

Exchange を EWS 同期されたメッセージを日誌に記すために設定 する方法に関する詳細については Microsoft に連絡して下さい。